

ゆ め

＜学校教育目標＞「ゆめ」に向かって たくましく生きる子供
＜清竜中学校区の目指す子ども像＞

自分のよさに気づき、他者とのかわりを大切に、夢に向かって努力する子供

令和6年2月2日

浜松市立熊小学校だより
＜発行者＞校長 二橋宏之



大谷翔平さんからの贈り物 ～「夢」に向かってたくましく～

メジャーリーガーとして大活躍している大谷翔平選手。彼は、マンドラチャートと呼ばれる目標達成シートでセルフマネジメントしながら、自分の夢に向かって着実に歩みを進めてきたそうです。この目標達成シートとは、大元となる目標がはっきりと示され、それを達成するための具体的な項目を可視化したフレームワークです。大谷選手はこの目標達成シートを高校1年生の時に作成したそうですが、今の活躍と照らし合わせながら見てみると、自分と向き合う時間を持ち、夢をかなえるためにはどうしたらいい



か具体的に考え、それを自分の生き方としても確立させてきたのだなと強く思います。大谷選手の生き方を考えるとき、先輩から教えていただいたこの言葉が頭に浮かんできました。それは、

「己こそ己の寄るべ、己をおきて誰に寄るべぞ、よく整えし己にこそ、まこと得がたきよるべをぞ得ん」これは、お釈迦様の教えで、発句経という経典の中にある言葉なのだそうで、主体性とか自己確立の大切さが伝わってきます。大谷選手と「よく整えし己」のイメージが重なるのです。

大谷選手の目標達成シートの真ん中は「ドラ1 8球団」（ドラフト1位で8球団から指名される）、この目標（夢）を達成するために必要な要素として考えたのが①体づくり ②人間性 ③メンタル ④コントロール ⑤キレ ⑥スピード160キロ ⑦変化球 ⑧運 となっているのですが、大谷選手は野球をやらされて今に到達したのではなく、目標達成シートを夢達成までの道のりとして、自分から、夢に向かって、自分の心や体を整えながら鍛え、突き進んできたのだと思います。熊小の学校教育目標は『「ゆめ」に向かってたくましく生きる子供』です。大谷選手は、まさに熊小の子供たちにとって大きなロールモデルです。その大谷選手から熊小学校にも3つのグローブ

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝します。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平



が届けられました。グローブには左のような手紙が添えられていました。（前半部分省略）

大谷選手は野球と出会い、夢をはっきりさせ、自分をよく整えながら努力を重ねてきました。熊小の子供たちは何と出会い、自分の夢をはっきりとさせ、自分の生きる道を歩んでいくのでしょうか。

「若鳥われら 今ここに望みを胸にはばたかん」（校歌3番より）その日までに必要な力を育むべく、魅力ある学校づくりに励んで参りたいと思います。

子供たちの様子 学校の様子（1月）



生活科 1・2年 凧揚げ 自分で作った凧を運動場で揚げました。遊びの中に学びが詰まっています。



合同体育 新しいサッカーゴールも設置され、寒さに負けず、運動場でサッカーを楽しんでいます。



四小交流（6年） 四小の友達とフルーツパークでウォークラリーなどをして交流を深めました。



にこにこの日 5・6年生が企画をし、昼休みにみんなで思いっきり体を動かすゲームを楽しみました。



避難訓練 大地震が起こった事を想定した避難訓練と能登半島地震をもとに防災学習をしました。



お茶のいれ方教室 天竜茶振興協会、JA、県職員の方からおいしいお茶のいれかたを学びました。



給食週間感謝の気持ちを 学校給食に携わる方々に感謝の気持ちを直接伝えました。



調理実習 5・6年生が家庭科で調理実習をしました。包丁の扱いもうまくなってきています。

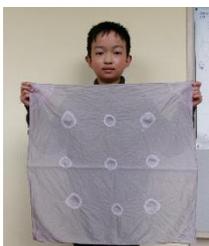


おもちゃランド 1・2年生がおもちゃランドを開き、幼稚園の友達を招待して楽しみました。

ゆめ講座（草木染め）

1月26日に、地域の方に講師となっただき、ゆめ講座（草木染め）を開催しました。

染める原料はクサギ（以前、1・2年生が採集してきたものです）、マリーゴールド、ブルーベリーなど。協力してスカーフを染める様子はとてもほほえましく、みんなで協力し合う「ひと」とかかわる力が育っているのを感じました。草木染めは自然のものを利用しているの環境に優しいそうです。合成染料よりも手間はかかりますが、個性的な色彩に染まりとてもすてきです。子供たちが思い思いに絞り方を工夫し、模様も様々。世界にたった一つの限定品となっています。また、自然のものを利用しているため、色落ちもしやすいとのことですが、年を重ねていくにつれて、なんとも言えない深みが出てきてより味わい深くなるそうです。来年度、このスカーフをつけて音楽発表会やくんまおうえん社の活動にも臨みます。



地域の皆様のご支援が子供たちの充実した学びにつながっていると同時に健やかな心が育っています。本当にありがとうございます。